



平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年6月13日

上場会社名 太洋基礎工業株式会社 上場取引所 大
 コード番号 1758 URL <http://www.taiyoukiso.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤 孝芳
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)加藤 行正 (TEL)052(362)6351
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	2,566	32.7	258	—	268	—	153	—
25年1月期第1四半期	1,934	△19.9	△17	—	△7	—	△7	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	42.44	—
25年1月期第1四半期	△1.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第1四半期	7,331	4,964	67.7
25年1月期	7,065	4,830	68.4

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 4,964百万円 25年1月期 4,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	12.50	12.50
26年1月期	—				
26年1月期(予想)		0.00	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,942	5.9	384	△27.1	414	△25.7	225	△29.1	62.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年1月期1Q	4,098,000株	25年1月期	4,098,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年1月期1Q	472,788株	25年1月期	472,788株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年1月期1Q	3,625,212株	25年1月期1Q	3,940,212株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済政策への期待を背景とした円安進行や株価の回復、堅調な個人消費等明るい兆しが見られるものの、欧州の金融不安もあって先行き不透明な状況で推移しました。

建設業界におきましては、住宅市場では各種関連施策の効果により住宅着工戸数に増加の傾向が見られ始めましたが、民間設備投資の低迷から受注環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況のなかで当社は、創業55周年の佳節を迎え昨年開設した営業所も含め積極的な受注活動を展開し、全現場、全部署黒字化をめざし徹底した施工管理、原価管理をおこなってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高につきましては、25億66百万円(前年同四半期比6億32百万円増加)となりました。

損益につきましては、営業利益は2億58百万円(前年同四半期は17百万円の営業損失)、経常利益は2億68百万円(前年同四半期は7百万円の経常損失)、四半期純利益は、1億53百万円(前年同四半期は7百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

特殊土木工事等事業における、当第1四半期累計期間の完成工事高につきましては、TRD工法による大型地中連続壁工事や旧護岸縦断推進工事等の難易度の高い工事を順調に施工した結果、13億84百万円(前年同四半期比3億65百万円増加)となり、セグメント利益は1億74百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント損失)となりました。

住宅関連工事業における、当第1四半期累計期間の完成工事高につきましては、住宅着工件数の増加に伴い受注件数が増加した影響により、11億81百万円(前年同四半期比2億67百万円増加)となり、セグメント利益は84百万円(前年同四半期比81百万円増加)となりました。

機械製造販売等事業における、当第1四半期累計期間につきましては、受注実績および販売実績ともになく、売上高およびセグメント利益は発生しませんでした。なお、前年同四半期における売上高は1百万円、セグメント利益は0百万円となっております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、73億31百万円となり、前事業年度末に比べ2億66百万円の増加となりました。その主な要因は、現金預金が4億49百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、23億67百万円となり、前事業年度末に比べ1億32百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金が増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、49億64百万円となり、前事業年度末に比べ1億33百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が増加したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております

この変更が、当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,499,543	2,949,062
受取手形	147,733	216,530
完成工事未収入金	2,007,424	1,699,518
未成工事支出金	286,858	319,935
その他	77,519	85,240
貸倒引当金	△25,560	△10,340
流動資産合計	4,993,518	5,259,948
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	138,486	148,793
機械及び装置(純額)	270,129	261,558
土地	922,112	922,112
その他	6,864	11,943
有形固定資産合計	1,337,592	1,344,408
無形固定資産		
投資その他の資産	8,629	8,485
投資有価証券	379,667	411,420
破産更生債権等	39,779	71,521
その他	419,657	372,239
貸倒引当金	△113,784	△136,635
投資その他の資産合計	725,319	718,545
固定資産合計	2,071,541	2,071,438
資産合計	7,065,060	7,331,387
負債の部		
流動負債		
支払手形	635,869	607,108
工事未払金	752,005	731,268
1年内返済予定の長期借入金	52,832	62,954
未払法人税等	169,880	146,638
未成工事受入金	116,755	142,950
賞与引当金	31,654	71,321
役員賞与引当金	24,750	5,872
その他	194,827	305,410
流動負債合計	1,978,574	2,073,524
固定負債		
長期借入金	—	65,156
退職給付引当金	148,019	147,533
役員退職慰労引当金	103,774	76,914
資産除去債務	4,060	4,080
固定負債合計	255,854	293,684
負債合計	2,234,429	2,367,209

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,300	456,300
資本剰余金	340,700	340,700
利益剰余金	4,171,970	4,280,505
自己株式	△176,413	△176,413
株主資本合計	4,792,556	4,901,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,074	63,086
評価・換算差額等合計	38,074	63,086
純資産合計	4,830,631	4,964,177
負債純資産合計	7,065,060	7,331,387

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
完成工事高	1,933,015	2,566,600
兼業事業売上高	1,428	—
売上高合計	1,934,443	2,566,600
完成工事原価	1,789,525	2,139,978
兼業事業売上原価	663	—
売上原価合計	1,790,188	2,139,978
完成工事総利益	143,489	426,621
兼業事業総利益	765	—
売上総利益合計	144,255	426,621
販売費及び一般管理費	161,491	168,401
営業利益又は営業損失(△)	△17,236	258,220
営業外収益		
受取利息	13	321
受取配当金	—	300
受取賃貸料	17,110	5,321
生命保険配当金	5,716	4,159
その他	1,752	4,034
営業外収益合計	24,592	14,137
営業外費用		
支払利息	401	149
賃貸費用	14,126	3,893
その他	0	16
営業外費用合計	14,527	4,059
経常利益又は経常損失(△)	△7,171	268,298
特別利益		
固定資産売却益	1,414	6,795
特別利益合計	1,414	6,795
特別損失		
固定資産除却損	295	4
特別損失合計	295	4
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,051	275,089
法人税、住民税及び事業税	26,530	144,120
法人税等調整額	△25,468	△22,880
法人税等合計	1,061	121,239
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,113	153,850

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	特殊土木工事等事業	住宅関連工事業	機械製造販売等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,018,973	914,041	1,428	1,934,443
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,018,973	914,041	1,428	1,934,443
セグメント利益又は損失 (△)	△20,699	2,773	690	△17,236

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	特殊土木工事等事業	住宅関連工事業	機械製造販売等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,384,737	1,181,862	—	2,566,600
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,384,737	1,181,862	—	2,566,600
セグメント利益	174,187	84,032	—	258,220

(注) セグメント利益の合計は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は生産実績を定義することが困難であるため生産実績の記載はありません。

① 売上高の状況

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)		対前年同期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)
特殊土木工事等事業	1,018,973	52.7	1,384,737	54.0	365,764	35.9
住宅関連工事事業	914,041	47.2	1,181,862	46.0	267,821	29.3
機械製造販売等事業	1,428	0.1	—	—	△1,428	△100.0
合計	1,934,443	100.0	2,566,600	100.0	632,156	32.7

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

② 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)		対前年同期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)
特殊土木工事等事業	1,031,059	52.4	871,134	38.9	△159,925	△15.5
住宅関連工事事業	933,864	47.5	1,368,777	61.1	434,912	46.6
機械製造販売等事業	1,428	0.1	—	—	△1,428	△100.0
合計	1,966,352	100.0	2,239,911	100.0	273,558	13.9

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

③ 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)		対前年同期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)
特殊土木工事等事業	3,836,856	97.6	2,062,910	88.9	△1,773,945	△46.2
住宅関連工事事業	94,778	2.4	257,905	11.1	163,126	172.1
機械製造販売等事業	—	—	—	—	—	—
合計	3,931,635	100.0	2,320,816	100.0	△1,610,819	△41.0

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。